

地域医療支援病院業務報告書

令和6年 9月19日

愛知県知事殿

開設者 住 所

東京都港区芝大門1丁目1番3号

氏 名

日本赤十字社 社長

下記のとおり、令和5年度の業務に関して報告します。

記

1 病院の名称等

名 称	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院					
所 在 地	名古屋市中村区道下町3丁目35番地					
診 療 科 名	内科、腎臓内科、内分泌内科、血液内科、脳神経内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、小児科、消化器外科、乳腺外科、血管外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、形成外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、女性泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科、救急科、臨床検査科、化学療法内科、精神科（34科）					
病 床 数	精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
	0	0	0	0	852	852

様式第19（第1条関係）

2 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室 （西棟5階） ICU（8床） 救命A（8床）	（主な設備） 生体情報モニター・血液凝固測定器アクタライクMINI II・人工呼吸器・鼻マスク式人工呼吸器・持続的血液濾過透析装置・解析付心電計・深部温モニターコアテンプ・IABP装置・汎用超音波画像診断装置・高・低体温維持装置・除細動器・低体温治療用生体情報モニタリングシステム・体温管理システム・血液ガスシステム 他 病床数16床
生化学検査室 （西棟3階）	（主な設備） 自動浸透圧測定装置・遠心機・糖尿病項目簡易搬送システム・PHメーター・総合血液検査システム 多項目自動血球分析装置・顕微鏡・生物顕微鏡・冷却遠心機・骨髄像分類装置・全自動化学発光酵素免疫測定システム・ディスプレイ方式臨床生化学自動分析装置・他
細菌検査室 （東棟地下1階）	（主な設備） テーブルトップ遠心機・MIC2000細菌検査システム・ジェット式器具洗浄機・落射蛍光顕微鏡デジタルカメラシステム・バイオハザード対策用キャビネット・インキュベータ・薬用冷蔵ショーケース・ディスプレイ顕微鏡 並列セット 他
病理検査室 （東棟地下1階）	（主な設備） 自動染色装置・顕微鏡・顕微鏡デジタルカメラ・顕微鏡用3CCDデジタルカメラ・ゾーニングユニット・システム生物顕微鏡・パラフィン包埋ブロック作製装置・臓器標本撮影装置・他
病理解剖室 （東棟地下1階）	（主な設備） 遺体保存冷蔵庫・解剖用无影灯・密閉式自動固定包埋装置・バイオハザード対策用L型解剖台 他
研修室 （ハースセンター棟4階）	（主な設備） 3LCDデータプロジェクター・映像・音響システム・パーソナルコンピュータ・プリンター・机・椅子 他
講義室 （ハースセンター棟3階・4階） （管理棟3階）（東棟2階）	室数 14室 収容定員 596人 ※ハースセンター棟研修室と共用
図書室 （西棟4階）	室数 1室 蔵書数 5,340冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	（主な設備） 酸素・無線機・マスク（手動人工呼吸器）・ストレッチャー 保有台数 2台
医薬品情報管理室	〔専用室の場合〕 床面積 23.521㎡

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

1 算定期間 令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日
※別添 1

2 紹介率 83.0%

紹介患者の数 (A)	初診患者の数 (B)	紹介率 ($A/B \times 100$)
21,701人	26,128人	83.0%

3 逆紹介率 85.7%

逆紹介患者の数 (C)	初診患者の数 (B)	逆紹介率 ($C/B \times 100$)
22,409人	26,128人	85.7%

※1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。

※2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。

※3 紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあつては、今後、2年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

共同利用の実績
(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績

- ・共同利用を行った医療機関の延べ数 1,180件 (※別添2-①)
- ・開設者と直接関係のない医療機関の延べ数 1,180件 (※別添2-②)
- ・共同利用に係る病床利用率 0.7% (※別添2-③)

※1 前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数、これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数、共同利用に係る病床の病床利用率等を記入すること。

2 共同利用の範囲等

- ・図書室 (西棟4階) (※別添2-④)
- ・研修室 (会議室1~7と9、演習室1~2、研修室1~4、内ヶ島講堂) ←講義室と共用 (※別添2-⑤)
- ・開放型病床 5床 (西棟10階A病棟)
- ・共同利用医療機器

- ・放射線部門
 - 磁気共鳴断層診断装置 (MR) (西棟1階)
 - 全身用コンピュータ断層撮影装置 (CT) (西棟1階)
 - 放射線治療 (外部照射) (西棟地下1階)
 - 64列マルチスライス CT (冠動脈造影検査MDCT) (西棟1階)
 - シンチグラム (東棟1階)
 - ポジトロン断層撮影装置 (PET-CT) (東棟1階)
- ・検査部門
 - 脳波 (東棟2階)
 - 内視鏡検査 (胃カメラ (GIF)) (西棟1階)

※2 病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象としたものを記入すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規程 (※別添2-⑥)	<input checked="" type="radio"/> 有 (別紙運用要領を活用) ・ 無
利用医師等登録制度の担当者	氏 名
	職 種
	医 師

※3 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医 療 機 関 名	開 設 者 名	住 所	主たる診療科	申請者との経営上の関係
1,036施設 (※別添2-⑦)				

※4 申請に係る病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 5床

救急医療提供の実績

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
875名 ※別添3			常勤 非常勤	専従 非専従	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称 (救命 B) 22 床
専用病床	名称 (救命 A) 8 床、(HCU) 24 床、(NICU) 18 床、(NFICU) 9 床

3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急初察室 (西棟 1 階)	271.51 m ²	(主な設備) 圧縮空気不要人工呼吸器・心電計・輸液輸血加温装置(ホットライン)・AED(自動体外式除細動器)・ベッドサイドモニター・血圧監視装置(架台付)・挿管セット・蘇生・搬送用ベンチレータ・無影燈フリスマックス・携帯用人工呼吸器・シャカステン・パルスオキシメーター・局部洗浄ストレッチャー・除細動器・電動式救急ストレッチャー・他	可
救命救急センター (西棟 5 階 救命 A・救命 B ・HCU)	2523.93 m ²	(主な設備) 低体温治療用生体情報モニタリングシステム・エアロカーディオン・高・低体温維持装置・解析付心電計・除細動器・パルスオキシメーター・IABP 装置・超音波双方向血流計・救急カート・セントラルモニタシステム・他	可
放射線室 (西棟 1 階) (東棟 1 階) (西棟地下 1 階) (東棟地下 1 階)	2234.47 m ² (1151.87 m ²) (449.95 m ²) (325.39 m ²) (307.25 m ²)	(主な設備) CR システム・リアルタイムホジションマネジメントシステム・除細動器・救急カート・シャカステン・体外衝撃波結石破碎装置周辺機器・無影灯・全身用 X 線 CT 装置・フルデジタル X 線撮影装置・ベッドサイドモニター・超高速全身用 2 管球搭載型 CT 装置・他	可
心臓カテーテルセンター (西棟 5 階)	239.98 m ²	(主な設備) 循環器系 X 線診断装置・体外式ペースメーカー・臨床ポリグラフィシステム・多目的 X 線撮影装置・他	可
内視鏡センター (西棟 1 階)	359.87 m ²	(主な設備) エルベ アルコン プラズマ凝固装置 APC・上部消化管汎用ビデオスコープ・気管支ビデオスコープ・大腸ビデオスコープ・電子内視鏡システム・パルスオキシメーター・ベッドサイドモニター・高周波焼灼電源装置 他	可

特定集中治療室 (西棟 5 階 ICU)	387.26 m ²	(主な設備) 人工呼吸器・鼻マスク式人工呼吸器・持続的血液濾過透析装置・IABP 装置・高・低体温維持装置・気管支ファイブスコープ・血液ポンプ駆動装置 外部モニター・体外式ペースメーカー・無影灯・除細動器・血液ガスシステム・陽陰圧体外式人工呼吸器・生体情報モニター 他	可
中央手術室 (西棟 4 階)	2675.41 m ²	(主な設備) 血液ガスシステム・血液凝固測定装置・空圧式結石破碎装置尿管鏡セット・脳神経外科用手術顕微鏡ナビゲーションシステム・高周波手術装置・自己血回収装置セルセパレーター・分離式電動手術台・各種手術器械セット・電動油圧手術台・他	可
総合周産期母子医療センター (MFIUCU) (NICU) (西棟 6 階)	2503.40 m ² (502.43 m ²) (784.60 m ²) (1216.37 m ²)	(主な設備) 母体胎児監視システム・患者監視モニター・電動リモートコントロールベッド・救急カート・鼻腔式持続陽圧呼吸補助装置・血液ガスシステム・光線治療器 ライトベッド・新生児用保育器・新生児・小児用人工呼吸器・未熟児・新生児・小児用人工呼吸器・パルスオキシメーター・開放型保育器(インフアウォーム)・ネオブルーLED 光線治療器・保育器インキュビ 他	可
脳神経センター (西棟 10 階 A)	1154.93 m ²	(主な設備) AED 除細動器・生体情報モニター・セントラルモニター・パルスオキシメーター・救急カート・他	可
循環器センター (西棟 9 階 A)	1154.93 m ²	(主な設備) AED 除細動器・パルスオキシメーター・救急カート・生体情報モニター・他	可

4 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送用の自動車により搬入した救急患者の延数	7,343 人 (3,301 人)
上記以外の救急患者の延数	10,625 人 (2,428 人)
合 計	17,968 人 (5,729 人)

※ () 内は入院患者

5 保有する救急用又は患者輸送用の自動車の出動回数

0 回

6 備考

「救急病院等を定める省令」による救急医療機関

- ・小児医療センター (昭和 59 年 9 月 1 日認定)
- ・総合周産期母子医療センター (平成 10 年 7 月 1 日認定)
- ・愛知県救命救急センター (平成 15 年 5 月 1 日認定)

会議室 6 (ハースセンター棟3階)	39.92 m ²	(主な設備) ビックパッド・机・椅子・インターネット PC・インターネット LAN・病院情報システム LAN・病院情報システム PC・他
会議室 7 (ハースセンター棟3階)	34.59 m ²	(主な設備) 机・椅子・インターネット PC・インターネット LAN・病院情報システム LAN・病院情報システム PC・他
会議室 9 (東棟2階)	59.73 m ²	(主な設備) プロジェクター・病院情報システム LAN・病院情報システム PC・ロールスクリーン×2・机・椅子・他
研修管理室 (ハースセンター棟4階)	50.79 m ²	(主な設備) 机・椅子・HISPC・プリンター・コピー機・テーブル・インターネット PC・FAX・他
演習室 1 (研修室と共用) (ハースセンター棟4階)	218.68 m ²	(主な設備) 机・椅子・プロジェクター×2・スクリーン×2・演台×2・放送設備・インターネット PC×2・インターネット LAN・病院情報システム LAN×2・病院情報システム PC×2・他
演習室 2 (研修室と共用) (ハースセンター棟4階)	94.57 m ²	(主な設備) 臨床用女性骨盤部トレーナーMk3 フルセット・マイクロ実体顕微鏡・腹腔鏡縫合トレーニングセット・ベッド・医療ガスアウトレット・机・椅子・プロジェクター・放送設備・おしぼりボード・インターネット PC・インターネット LAN・病院情報システム LAN・病院情報システム PC・他
研修室 1 (ハースセンター棟4階)	56.39 m ²	(主な設備) ビックパッド・机・椅子・インターネット PC・インターネット LAN・病院情報システム LAN・病院情報システム PC・他
研修室 2 (ハースセンター棟4階)	53.70 m ²	(主な設備) ビックパッド・机・椅子・インターネット PC・インターネット LAN・病院情報システム LAN・病院情報システム PC・他
研修室 3 (ハースセンター棟4階)	54.12 m ²	(主な設備) 液晶ディスプレイ・机・椅子・インターネット PC・インターネット LAN・病院情報システム LAN・病院情報システム PC・他
研修室 4 (ハースセンター棟4階)	113.13 m ²	(主な設備) 放送設備・PC・インターネット LAN・机・椅子・他
図書室 (西棟4階)	100.54 m ²	(主な設備) 書架・PC・インターネット LAN・ページプリンタ・インクジェットプリンタ ファックス・机・椅子・他

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

1 管理責任者等

	氏 名	職 種	役 職 等
管 理 責 任 者 の 氏名、職種、役職等		医師	院長
管 理 担 当 者 の 氏名、職種、役職等		看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、医療社会事業司、事務職員	各部署の所属長

2 諸記録の保管場所及び分類方法

		保 管 場 所	分 類 方 法
診療に関する 諸記録	病院日誌・各科診療日誌	総務課 (管理棟 5 階)	診療科・入外患者別の日付順
	各科診療日誌	日直／当直日誌台帳システム (東棟 3 階)	診療科・病棟別の日付順
	処方箋	薬剤部 (西棟 1 階)	患者日付順
	手術記録	電子カルテサーバ (東棟 3 階)	患者日付順
	看護記録	電子カルテサーバ (東棟 3 階)	患者日付順
	検査所見記録	電子カルテサーバ (東棟 3 階) 検査部 (西棟 3 階)	患者日付順
	エックス線写真	電子カルテサーバ (東棟 3 階)	患者日付順
	紹介状	電子カルテサーバ (東棟 3 階) 地域医療連携課 (相談支援センター 1 階内)	患者日付順
	退院した患者に係る入院 期間中の診療経過の要約	電子カルテサーバ (東棟 3 階)	患者日付順

病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携課 (相談支援センター1階内)	日付順
	救急医療の提供の実績	救急外来患者一覧システム (西棟1階)	日付順
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携課 (相談支援センター1階内)	日付順
	閲覧の実績	医療安全管理課 (管理棟4階)	日付順
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携課 (相談支援センター1階内)	日付順

※ 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法
及び閲覧の実績

閲覧責任者	氏名	職種	役職等		
		医師	院長		
閲覧担当者	氏名	職種	役職等		
		事務職員	医療安全管理課長		
閲覧場所	管理棟4階（医療安全管理課）				
総閲覧件数	医師	歯科医師	地方公共団体	その他	合計
	32			84	116
閲覧手続の概要	<p>【閲覧申請の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院における診療情報の提供等に関する指針「7 診療記録の開示」及び日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院における診療情報の開示に関する規程「4 診療記録の開示」 <p>【閲覧に係るセキュリティー状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員認証ICチップカード（半導体集積回路入り）とパスワードで管理 <p>【費用負担額等】※ 全て外税表記</p> <ol style="list-style-type: none"> ①開示請求手数料：1件につき 3,000円 ②閲覧：（医師・歯科医師が口頭説明した場合） 30分までごとに 1件につき 5,000円 ③紙類の謄写： 白黒1枚につき 20円、カラー1枚につき 50円 ④エックス線写真等の媒体保存： DVD-R 1枚につき 2,500円 ⑤診療記録の不存在証明書発行手数料： 1件につき1,000円 				

（注）登録医師の閲覧に関する担当者は、地域医療連携課長 辛島禎史（閲覧場所は地域医療連携課）

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

1 委員会の開催回数：4回

2 委員会における議事の概要

① 令和5年度（第67回）

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 地域医療支援病院運営委員会（議事録）

- ・開催日時 令和5年5月24日（木） 14：00～
- ・開催場所 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 会議室1・2
（参集・Zoomによるオンラインのハイブリット開催）

・出席者

院外：18名 院内：9名

・欠席者

院外：3名 院内：1名

1. 開会

2. 院長挨拶

3. 議事

- （1）地域医療支援病院実績報告（令和4年度・令和4年度第4四半期）
- （2）当院の取り組みについて
- （3）ACPIについての研修会の実施について
- （4）なかむら学術セミナーについて

4. 閉会

② 令和5年度（第68回）

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 地域医療支援病院運営委員会（議事）

- ・開催日時 令和5年8月24日（木） 14：00～
- ・開催場所 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 会議室2・3
（参集・Zoomによるオンラインのハイブリット開催）

・出席者

院外：19名 院内：10名

・欠席者

院外：2名

1. 開会

2. 院長挨拶

3. 議事

- (1) 地域医療支援病院実績報告（令和5年度第1四半期）
- (2) 開放型病床について
- (3) ACPについての研修会について
- (4) 地域フォーミュラリーについて
- (5) 当院の取組みについて
- (6) その他

4. 閉会

③ 令和5年度（第69回）

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 地域医療支援病院運営委員会（議事）

- ・開催日時 令和5年11月30日（木） 14：00～
- ・開催場所 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 会議室2・3
（参集・Zoomによるオンラインのハイブリット開催）
- ・出席者
院外：19名 院内：8名
- ・欠席者
院外：2名 院内：2名

1. 開会

2. 院長挨拶

3. 議事

- (1) 地域医療支援病院実績報告（令和5年度第2四半期）
- (2) 相談支援センター2階の開設について
- (3) 尾陽包括ケアの会主催 講演会について
- (4) ACPについての研修会について
- (5) 第6回なかむら・やごと病診連携セミナーについて
- (6) その他・当院の取組みについて

4. 閉会

④ 令和5年度（第70回）

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 地域医療支援病院運営委員会（議事）

- ・開催日時 令和6年2月22日（木） 14：00～
- ・開催場所 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 会議室2・3
（参集・Zoomによるオンラインのハイブリット開催）
- ・出席者
院外：18名 院内：9名

・欠席者

院 外：3名 院 内：1名

1. 開会

2. 院長挨拶

3. 議事

(1) 地域医療支援病院実績報告（令和5年度第3四半期）について

(2) 名古屋西部・海部東部地域包括ケア推進協議会（尾陽包括ケアの会）第13回総会・講演会について

(3) 第20回日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院・地域歯科医師会病診連携システム学術セミナーの開催について

(4) 令和6年能登半島地震にかかる報告について

(5) その他、当院の取り組みについて

4. 閉会

患者相談の実績

患者相談を行った場所	相談支援センター 1階		
患者相談担当者	氏	名	職
	種 役 職 等 ・医療ソーシャルワーカー ・医療ソーシャルワーカー ・医療ソーシャルワーカー ・医療ソーシャルワーカー ・医療ソーシャルワーカー ・医療ソーシャルワーカー		
患者相談件数	10,131件		

患者相談の概要

受診・受療援助：2,883件

経済的援助：1,020件

制度活用に関する援助：2,923件

入院療養生活の援助：245件

在宅療養・介護の援助：1,519件

医療者との関係の援助：23件

家族関係の援助：41件

日常生活の援助：355件

就労・職場・就学の援助：293件

身元保証・権利擁護の援助：341件

死後対応の援助：454件

上記以外：34件 (※複数計上あり、上記患者相談担当者以外の援助者の件数も含む)

(相談実件数：4,475件)

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

医療・介護提供施設との退院前カンファレンス等の開催 473件実施

(参考：介護支援連携指導料算定件数：233件、内退院支援部門が行なった算定件数98件)

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

診療情報提供書、リハビリ・看護サマリ等情報の提供

退院支援相談（転院調整：1,193件・在宅療養調整：597件・施設入所調整：59件）

その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

訪問看護指示料算定：1168件

退院時共同指導料算定件数：91件

がん看護基礎研修開催（院内看護師及び、院外の訪問看護師等向け）：コロナ禍のため、院外向けの研修については開催なし。院内スタッフ向けにEラーニング研修を実施。2024年度以降で院外向けの研修を企画中。

当院看護師と地域の看護師との交流会開催：コロナ禍のため、開催なし。（例年は年1回、毎年10月頃開催）

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

専 用 の 室 の 名 称	地域医療連携室		
担 当 者	氏 名	職 種	役 職 等
		医師	医療社会事業部長

2 病院の機能に関する第三者による評価

評 価 を 行 っ た 機 関 名	公益財団法人 日本医療機能評価機構
評 価 を 受 け た 時 期	令和2年1月24日～令和7年1月23日

※ 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

3 退院調整部門の取組

<p>退院調整部門の実績</p> <p>退院支援相談件数 延2,024件</p> <p>転帰別内訳：転院：1,193件・在宅：597件・施設入所：59件(残る175件は、死亡退院)</p> <p>参考：病棟専任の退院支援職員が行なった調整を含めた退院支援相談件数 延9,029件</p> <p>転帰別内訳：転院：165件・在宅：8,586件・施設入所：232件(残る46件は、死亡退院)</p>

4 地域連携を促進するための取組みの実績

<p>策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容</p> <p>大腿骨頸部骨折地域連携パス・脳卒中地域連携パス</p> <p>乳がん・胃がん・大腸がん・肺がん・肝がんの地域連携クリニカルパス</p>
<p>地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み</p> <p>病棟毎に多職種で行う退院支援カンファレンスにて、地域連携パス対象患者を早期に把握している。同時に脳血管疾患に関しては、脳卒中回診に退院支援部門も参加し、連携パス適応について検討を行なっている。</p> <p>がん拠点病院連携パスコーディネーター会が年2～3回あり、各病院の取り組み状況や問題点を共有し、自院で取り組めることを取り入れている。</p> <p>各がんパス対象者になりうる患者を医療情報部門と協働して抽出し、がんパスが適切に利用できるよう担当医と連携している。また、地域連携部門とともに地域開業医のもとへ訪問し連携体制の強化に努めている。</p>

5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法

ホームページ、広報誌（日赤なごや）、SNS

内容等の概要

病院概要（診療科・部門、診療情報、特殊高度診療機能）、外来・入院について、医療関係者向けのご案内（病診・病病連携システム）

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。